



# 家畜保健衛生

高梁家畜保健衛生所長

家畜衛生綜合対策推進協議会（国）

び農協と協議のうえ、前述の事業を推進するために重点地域と重点農家を選定して、その指導を実施している。  
△病性鑑定  
疑似患畜の早期診断による防疫措置が急務とされているとき、特別な鑑定が必要とされるもの以外の鑑定施設の早期実現が望ましい。

四研修  
衛生所の技術者は家畜別に衛生技術の専門化が必要とされ、また地方の技術者の技術の指導の任にあたるべきであるから高度の技術を修得させるべきである。

また市町村、農協の技術者及び開業者に対しては、衛生所ごとに畜産技術者連絡協議会を結成して衛生所の職員が技術研修の任にあたり、技術の向上と技術の統一をはかり、これら技術者が畜産農家の講演、講話座談会を受持つべきであろう。

五人工授精  
凍結精液の普及と共に衛生所に凍結精液の保管並びに輸送器具を完備し、乳牛においては系統調査を行い人工授精師が配合指導のできるよう教育すべきではなかろうか。

六衛生思想の普及向上

補又は単県）を全部の衛生所に設置し、これが基盤となり、広報の発刊、講習会、研究会の開催及び広報車又は有線放送による啓蒙が必要である。

昨年度から畜産会が主体になって実施されている家畜衛生週間は、家畜衛生思想の普及啓蒙には欠くことのできないものである。

六機構、運営  
他の都道府県ではすでに衛生所の機構を整備し、一ヵ所に職員が二〇名前後勤務し所長、次長そして庶務課、防疫課、生産衛生課（又は指導課）更に中央的性格をもつ衛生所には病性鑑定課をおいている。そして所長は行政職二等級に格付され第一線で活躍する吾々に対して今後に御指導、御協力下さるようお願いする。

まだ考え方があるわけだが、紙面の都合で主たる項目について述べ、

## 牛の繁殖障害の防除に活躍する 武田の動物薬品

新低受胎牛治療剤……………動物用

**フルセリン**

新子宮内膜炎治療剤……………動物用

**フレナG**

合成樹脂製注入器……………動物用

**子宮内葉液注入器**

武田薬品工業株式会社食品事業部・畜産部

V-06

# 所のあり方

石井敏雄



永い行政事務から離れて、第一線の担当の座から離れてみて変った面多々あることがわかり、今後の衛生所のあり方について考えていることを述べて、皆様の御批判をいただきたい。

一、防疫  
ニューカッスル病、豚コレラと次々に家畜伝染病の大発生をみ、今年の八月以降には牛の流行性感冒の発生も疫学的には予測されている。

衛生所が九ヵ所になり、広域化して伝染病の発生が多くなったと言うことのある会議の場で耳にしたこと

がある。伝染病の発生は衛生所の広域化とはあまり関係がないように思われる。

昔と違って畜産物の流通は経済圏が広大されるにつれて複雑化され、病原体の伝播も広範囲化され、一旦伝染病と決定されたときには、従来から考えられていた第一線警戒地域も必然的に変えるべきであろう。

このとき予防治注射の完璧を期することは勿論であるが、病原体も個体を通じて、その毒力が強くなって伝染病の発生を皆無にすることは困難のことと思われる。

防疫対策の一環として組織網の確立のため、各市町村に衛生推進協議会を設立が必要であろう。

また自衛（民間）防疫の推進と共に、衛生所では部落ごとに家畜の飼養戸数及び飼養頭数を常に把握して、路線の無駄をはぶき地図に記入し図上作戦も必要ではないだろうか。

二、生産衛生  
衛生所は法的な業務のみを行っていてよいと思われるが、地域の畜産衛生所となるのには、生産衛生指導をより重要視することではないだろうか。

最近とくに多頭羽化の傾向にあるとき、衛生を考慮していないと思われる省力管理によって、各種の疾病が誘発されているようである。

農家及び役場、農協から喜ばれる衛生所となるのには、生産衛生指導をより重要視することではないだろうか。

農家では、乳牛においては体质改善事業を昨年から行っているが誠に好評を得ている。

和牛においては、放牧牛は放牧牛が多発の傾向上有り、繁殖障害除去事業を行うべきであろう。

豚、鶏においては寄生虫の駆除と環境衛生の整備指導ではないだろうか。

高梁家畜保健衛生所では市町村及

## 八月号目次

家畜保健衛生所のあり方

石井 敏雄 謝

昭和四十年度家畜衛生対策について 県畜産課

改正家畜共済制度の概要

農家のための環境衛生 共済連

ニューカッスルの予防 中央畜産会

今日の家畜衛生の課題 ◇特集座談会

◇和試	◇鶏試
農家のための衛生対策	大森 忠逸
夏から秋にかけての乳牛の衛生	三浦 友久
畜産便りのおねがい	村田 武久
夏の養豚衛生	23
和藤 昇	19
障害牛が多発の傾向上有り、繁殖障害除去事業を行うべきであろう。	16
豚、鶏においては寄生虫の駆除と環境衛生の整備指導ではないだろうか。	28
畜産便りのベイジ	14
夏から秋にかけての乳牛の衛生	2
畜産便りのおねがい	13
和藤 昇	2
農家のための衛生対策	16
夏から秋にかけての乳牛の衛生	23
畜産便りのおねがい	19
和藤 昇	28
農家のための環境衛生 共済連	5
農家のための環境衛生 共済連	7

ニュース	放牧牛の衛生管理	大森 忠逸
農家のための衛生対策		16
夏から秋にかけての乳牛の衛生		23
畜産便りのおねがい		19
和藤 昇		28
農家のための環境衛生 共済連		5
農家のための環境衛生 共済連		7

## ロイコチドゾーン病

県南に発生

県畜産課衛生係

## 貯蔵飼料の

全県共励会を開催予定

で、防虫にも努め、ニューカッスル病が各地に流行している時もあるので、おかい鶏が出たら早めに最寄りの家畜衛生保健所に連絡して、早く病性を確かめ、指導を受けて下さい。

三、岡山県ものはまだ二割程度古箱を使用しているが、四国、九州は全て新箱に切替えられている。  
四、これから夏場対策として特に鮮度に気を付けること。週二回集卵の体制を確立すべきである。

ピリメサミン等の治療薬が開発されかから殆んど発生がなく、ロイコ病はもう養鶏家の頭から忘れられているようであるが、昔の諺に、災害は忘れた頃やつてくるといわれているとおり、最近県南地区で発生し相当の被害を被っている。症状は非常に鮮やかな緑色下痢便、貧血、産卵低下(20%前後)、かっ血などで、特に中離は腹内に出血し、二七三日間ぐらいで絶死している例もみられてる。

特にロイコ病予防薬入りと表示された飼料が回りついているが、それを給予しているにもかかわらず発病している例があるので、混合の有無を確かめ、信用のある飼料を購入利用すると共に、混合していないものには予防及び治療としてピリメサミン〇・〇〇一%とジメトキシソ〇・〇〇二五%を飼料中に混合して給与するか、ピリメサミン単味では〇・〇〇五%、ジメトキシン単味では〇・〇二五%を飼料に混合して給与するとよい。又ロイコ病の原虫はニワトリヌカカという小さい昆虫によって伝播されるの

岡山県酪農振興協議会では、六月四日に総会を開き、会長に高梁市長、副会長に美作町長、岡山農林事務所長、監事に鏡野町長、熊山町長という強力メンバーを選任した。今年度の重点事業として、貯蔵飼料の県下全般に亘る共励会を開催することに決めた。今まで地域的なものはあったが、県下を対象に行われるのは初めてである。

## 相変らずの岡山鶏卵

岡山県では六月二十七日、大阪で阪神地区の鶏卵荷受け業者、団体の関係者を招き、「岡山県鶏卵取引き懇談会」を開いた。席上荷受け側より次のとおりの意見があつた。  
一、一箱で四、五コのひび割れがある。  
一万コの良質卵があつても一コの不良卵があればそれで全体が評価される。

二、量目不足が相変らず目立つ。  
三、岡山県ものはまだ二割程度古箱を使用しているが、四国、九州は全て新箱に切替えられている。  
四、これから夏場対策として特に鮮度に気を付けること。週二回集卵の体制を確立すべきである。

## 今年度中に乳牛七〇〇頭導入

最近の生乳生産の伸び悩みに対する特別措置として、国、県、指定団体を中心となつて家畜(乳牛)導入事業を行うこととなつた。今年度中に、県有牛二〇〇頭、農協有牛五〇〇頭の計七〇〇頭の育成牛を、酪農近代化計画を樹てている市町村を優先的に一地区五〇頭を単位(一農家では二頭以内)として貸付けることになった。県有では五〇%ずつ国と県が一頭七万円を限度として、又農協有では一頭七万円を限度として二〇%ずつを国と県が補助する。

貸付け期間は五カ年で、五カ年たつと農家は七万円の金額を支払わねばならぬが、その間の生れた子牛の処分は農家の自由である。すでに相当の市町村からの希望があつており、近々実施に移される模様である。

“酪農・養鶏機ならおまかせ下さい”

## 農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の一七

## 小六農機株式会社

TEL 岡山④0307代 岡山市外専用110  
営業所 高梁・金川・児島

## 雌子牛二二二頭沖縄へ

牛が沖縄の肉用牛増産の大任を課すため、六月三十日の高梁子牛セリ市場で買われていった。これは政府が沖縄への財政援助の一環としている優良和牛の沖縄移出事業で買上げたもので、七月三日神戸に送られ、神戸動物検疫所で検査を受けたあと船で沖縄に移出される。

県下の和牛は毎年肉用牛一〇頭、種雄牛五七六頭が沖縄に買取られているが、今度の買い付け機に明年度からは買付け頭数が更に増えるものと県では期待している。今回の子牛は昨年十月から十二月に生まれたもので、平均体重二二五kg、平均価格一二万二千円と優秀なものである。(七・二 山陽新聞)

## 地方ニュース

史上最高 八二・六点  
(全国和牛産肉能力共進会後日談)

昨年十月、岡山市で開催された全国和牛産肉能力共進会の第一部種牛、第二区若牛雌区に出品し、最優秀牛に選ばれた真庭郡落合町真壁輝一氏の『いつこ号』は、現在同郡八束村岡田恒郎氏所有牛となり、蒜山においてになられた天皇、皇后両陛下の天覧に浴する栄を得た



(新庁舎と所長を中心に職員一同)



(彌生式牛舎全景)

岡山県の畜産保健所は診療主体として畜産発展に寄与してきたが、畜産情勢の伸展に伴ない、保健所も本来の姿にどり近代的な高度の技術が要請されるようになつた。そこで三十九年度より県下九カ所の広域保健所に統合し、さらに近代的な建物施設の建設を進めているが、その第一号として笠岡保健所の新築に昨年十二月着手し、本年六月八日に落成した。敷地面積二二九一m<sup>2</sup>(七七〇坪)、建物面積三五六m<sup>2</sup>(一一〇坪)で、写真のような現代感覚の本館と完備された設備をもつ解剖室等を備えている。なお総工費一〇四〇万円を要している。(岡)

## 弥生式？牛舎誕生

真庭郡美甘村では、自然放牧場の一つである旭ヶ丘団地(一〇ha)を、昭和四十年度畜産新技術開発実験施設設置事業を取入れて大改良し、美甘村畜産公社を作つて新しい肉用牛の放牧経営を試みているが、この度半地下式の牛舎が完成

した。これは面積九七・五m<sup>2</sup>、巾七・五m<sup>2</sup>、長さ一三m、土中よりの高さ一・三m、土中の深さ二・一mで、写真のような牛舎である。

地元ではこれを弥生式牛舎と呼んでおり、①夏涼しく冬暖かい、②屋根材が現地で間に合うので経費が安くつく、の二点がみそである。ちなみに建設費は一〇四万円、内五二万円を山村振興対策事業補助金で、残りを近代化資金で賄つてゐる。(奥)

## 畜産公社より六〇頭を借入れ

久米郡久米南町は県下でも子牛価格の高い主要な肉用牛生産地であるが、昭和三〇年頃一五〇〇頭いたものが、現在では一〇五〇頭の牛を九〇〇戸の農家が飼養している。このため町では昨年度から肉用牛振興五カ年計画をたてて普及を図つてゐる。そこで近く、県畜産公社から和牛子牛五〇頭と妊娠牛一〇頭の貸付けを受けることになり、最もまとまつた数である。これを更におしすゝめ四十六年度には再び一五〇〇頭飼育を目指しており、その内の八割一二〇〇頭を繁殖牛とする計画である。なお借り入れ牛の貸付け期間は五年で補助率もよく、有利である。

(七・十一 山陽新聞)

# 昭和四十二年度家畜衛生対策について

岡山県農林部畜産課

- (三) 管理衛生
- (四) 環境衛生
- (五) 各種疾病予防
- (六) 放牧衛生
- (七) 家畜衛生上の実態把握及び各種調査研究

最近における家畜の飼育形態は多頭羽集団化が進み、企業化されつあり、また種畜、畜産物等の流通の広域化、複雑化につれて、従来から行われていたような家畜個体を捉えての衛生対策でなく、集団を対象に且広域的に各種疾病的発生を未然に防止し、蔓延防止をより速かに且小範囲に止めるような諸措置を講ずる必要にせまられている。

特に前年度から本年度にかけては豚コレラの大発生に引続いて、ニューカッスル病の発生があり、畜産農家の被害が大きかったことは、今後の家畜衛生対策上技術者、畜産農家並びに関係業者は十分に肝に銘すべき問題点と考えられる。なお、今後における家畜衛生対策は、次のような基本構想により実施する。

## 一、家畜衛生対策の基本的な考え方

(一)、家畜衛生技術の専門化と高度化を図り、これが対策の推進に当っては畜産行政の総合理解の下に対策を講ずるともに、特に防疫措置は広域的に迅速的確

果断に実施する。

(二)、畜産經營主体が当然行うべき衛生措置が不十分なため、特に畜産の企業化の進展に伴なう経済的損失の増大傾向に対応して、自衛的予防衛生措置の組織的且計画的な実施についての指導強化をする。

(三)、農業構造改良事業、融資事業、家畜貸付事業等の助成事業の発足後重大な衛生上の被害を被っている事例があるので、これらの事業計画に際して衛生的見地からの配慮が十分に行われるよう考慮するとともに、指導の強化を図る。

## 二、家畜防疫対策

(一)、防疫思想の普及、家畜防疫思想の欠除、末端組織の未整備または欠除、経済的要因等による早期届出の不徹底により、結果的には被害が増大しているので、今後は早期発見、届出の完全実施、病性鑑定の迅速的確化と家畜伝染病予防法の主旨の徹底を図る。

### (二)、自衛防疫の推進

家畜防疫も質的な転換が要求されるが、

特に今後自分の財産は自己の責任において護ることを建前として、家畜保健衛生所の整備充実と相俟って家畜衛生体制の強化と技術の向上を図り、発生予防措置については自衛防疫を主点とし、自衛防疫推進のための組織の強化と所要経費の一部助成、器具の貸出等を行う。また伝

染病の発生に際しては、家畜伝染病予防法に基づく防疫措置を講じ、蔓延防止の徹底を図る。

(三)、家畜衛生技術総合指導対策事業

前年度に引き続き、家畜飼養の基本的事項である家畜保健衛生体制を確立するため、広域家畜保健衛生所を中心として管轄区域において次の事項を実施する。

(一)、家畜衛生推進協議会の設立

地域の家畜衛生推進協議会が設定した地区内に重要な事項で、次の項目について行う。

(二)、家畜衛生技術研修会の開催

・必須事業

(一)、家畜衛生指導網の整備

地域の家畜衛生推進協議会が設定した地区内に重要な事項で、次の項目について行う。

(二)、家畜の生産性向上に関する事項

・選抜事業

(一)、家畜衛生推進協議会の設立

地域の家畜衛生推進協議会が設定した地区内に重要な事項で、次の項目について行う。

(二)、家畜衛生技術指導網の整備

地域の家畜衛生推進協議会が設定した地区内に重要な事項で、次の項目について行う。

(三)、家畜衛生技術研修会の開催

・必須事業

(一)、家畜衛生指導体制の確立

畜産經營の基本である家畜衛生に対する指導を強化するため、絶えず農業を巡回し、一般畜産技術指導や診療業務に従事している市町村の畜産関係団体技術職員、共済組合獣医職員、民間開業獣医師は勿論、農業改良普及所等

合的に推進するための協力体制として設置した。

(二)、家畜衛生指揮体制の確立

畜産經營の基本である家畜衛生に対する指導を強化するため、絶えず農業を巡回し、一般畜産技術指導や診療業務に従事している市町村の畜産関係団体技術職員、共済組合獣医職員、民間開業獣医師は勿論、農業改良普及所等

# 改正 家畜共済制度の概要

岡山県農業共済組合連合会

昭和四十二年四月一日より改正家畜共

濟制度が発足し、今までの制度より大幅に改正されました。

今まで一五種類あったのが、新制度では七種類になりました。

## ① 共済目的の種類

用牛、馬、乳用種々雄牛、肉用種々雄牛、種雄馬、種豚。

の協力を得て、家畜保健衛生所の指導理念に基づき指導意識の統一を図り、同一步調で農家を指導するよう管内の家畜衛生指導体系の確立を図る。

(2) 家畜衛生情報網の確立

家畜衛生業務推進に当っては、家畜の異常、生産性の低下等を迅速に把握し、疫学的調査、病性鑑定により早期にしかも的確に病性を決定し、生産性の向上を図ることが重要であるため、市町村、関係団体、民間獣医師、農業改良普及員等の日常巡回時に気付いた(3) 家畜衛生に対する飼養者の組織化、家畜の飼養の多頭羽集団化に伴ない、改良普及員等の業務を確立する。一般獣医師に対して家畜保健衛生所の施設を開放し、科学的診断、技術援助等を行い診断技術の向上を図る一方、これを通じて管内家畜の疾病の発生状況等を把握し、家畜防疫体制の強化について家畜衛生指導業務が迅速且的確に未端に渗透するよう、飼養者の組織化を図るよう指導につとめる。

また広域家畜保健衛生所は、これらは、この組織化および組織に対する指導を強化するとともに、指導事項の実施についての指導とその成果の確認につとめ、特に多頭羽飼養者に対しては自衛的に家畜衛生業務を行うよう指導する。

## 四、獸医事の育成強化

家畜の多頭羽飼育化専業化企業化の進展に対応して、家畜疾病的早期且的確な診断と適切な処置が強く要請されるので、置く。

動物用医薬品は疾病の治療を主目的としたものから疾病の予防健康の維持増進、生産性向上のための生産資材としての比

重が高まりつつあり、また特に最近ニューカッスル病の発生に伴なう予防液の流通が多い現状から、これらの品質の保持と効率的使用等についての指導に重点を

として精液の需給調整につとめる一方、

の家畜がたくさんいる時)がある場合だけに認められ、原則として包括共済(農家単位)という方法で加入していただくことになりました。

包括共済というのは、飼っている家畜のうち乳用牛なら乳用牛だけ全部、馬なら馬だけ全部をひとまとめにして同時に加入する方法で、加入共済金額は合計評価額(共済価額)の最低三割から最高八割までの範囲で農家が選択できます。一頭ごとの契約はしないことをたてまえとしている点と、少々の病氣のものは加入できる点とが今までのやり方と根本的に

異っています。

### ③ 共済掛金及国庫負担の拡充

掛金の額は、共済金額に掛金率（県下を七地区に分けている）をかけて算出しますが、掛金には死亡廃用部分の掛金と、病傷部分の掛金とがあります。また、改正で死亡廃用部分と病傷部分に国がその一部を負担することになり、農家が負担する割合が少なくなりました。

また、改正によって加入方法が農家単位となり、掛金の額が大きくなるので掛け金の分割納入が認められました。そして包括共済（農家単位）で加入する家畜に対する国の負担割合は、全国一律に下記のようになりました。

### 映画で勉強しよう

貸出料一本 一、〇〇〇円  
ファイル名

酪農 農業経営の改善、乳牛のエサと繁殖  
障害牛の栄養と消化  
飼養 鶏 成功する養鶏経営、養鶏経営の改善  
上手な牧草の作り方と利用、水田に  
草を作る人々  
申込先 岡山市桑田町一の二  
社団法人 岡山県畜産会  
電話 (岡山) 二二一八五七五

$\frac{1}{3}$   $\frac{4}{10}$   $\frac{5}{10}$   $\frac{1}{3}$   $\frac{4}{10}$   $\frac{1}{3}$   $\frac{1}{2}$

死廢病傷を通ずる共済掛金	死廢病傷掛金の死廢部分
1頭～2頭加入	//
3頭～5頭加入	//
6頭～29頭加入	//
30頭以上	//
乳用牛	1頭でも10頭でも
肉用牛	//
馬	//
種雄牛	//

### ④ 共済事故の責任保有と病傷給付の方式

今まで一頭ごとの引受けで病傷事故の場合、その牛の限度点数の範囲内で給付を受けられていたが、新制度では農家単位（包括共済）になり、その家全体で年間の病傷給付限度（一年間無料で見てもらえる範囲）が設けられ、共済加入家畜のどの家畜が病気やけがをした場合でも共済団体の家畜診療所や嘱託、指定獣医師に診療してもらうと、一定限度までは

何回でも無料で診療が受けられます。この限度の額は畜種ごと加入共済金額と地域によって異なりますが、乳用牛が一〇弱、肉用牛が八弱です。たとえば、乳用牛一〇万円の加入共済金額であれば約一万円までは無料で診療が受けられます。もしこの限度を越えた場合には越えた部分だけは畜主の負担になります。また死亡、廃用事故で共済加入家畜のどの家畜が死廢事故になつても共済金が支払われます。

共済金の加入率一割の額×共済金額

（肉皮等の残存物価額は事故家畜の評価額の2倍を越える場合は2倍と計算する。）

たゞし肉皮の残存物価額が評価額の2倍を越える場合で、計算した共済金の額が加入時の評価額より残存物価額を引いた額（実損害額）より大きい時は実損害額が支払共済金となります。

（育成牛、肥育牛で加入後育成牛六ヶ月、肥育牛三ヶ月を経過して死廢事故があつた場合は加入時の評価額が事故直前の評価額に比べて著しく低いときは、その事例が発生直前の価額を用いて計算される場合がある。）

また、今まで国が七割、連合会が三割の責任部分が一部改められ、共済事故のうち一部の地域等に集中的に発生する異常事故（法定伝染病、流行性感冒等又は異常な風水害による共済事故）について

これまで以上に嘱託、指定獣医師との協力を得て極く一部の地区で事故防止を実施してきたが、その経費等につれては農家、組合等連合会で負担能力に差があり十分実施できなかつたため、予防措置が徹底せず事故も多く悪循環であります。それがため畜産経営者、畜産共済事業、國の畜産振興計画等を阻む要因になつてゐたわけあります。

そこで損害防止事業はどこでも同じ水槽を越える場合は2倍と計算する。

（肉皮等の残存物価額は事故家畜の評価額の2倍を越える場合は2倍と計算する。）

たゞし肉皮の残存物価額が評価額の2倍を越える場合で、計算した共済金の額が加入時の評価額より残存物価額を引いた額（実損害額）より大きい時は実損害額が支払共済金となります。

（育成牛、肥育牛で加入後育成牛六ヶ月、肥育牛三ヶ月を経過して死廢事故があつた場合は加入時の評価額が事故直前の評価額に比べて著しく低いときは、その事例が発生直前の価額を用いて計算される場合がある。）

また、今まで国が七割、連合会が三割の責任部分が一部改められ、共済事故のうち一部の地域等に集中的に発生する異常事故（法定伝染病、流行性感冒等又は異常な風水害による共済事故）について

今まで以上に嘱託、指定獣医師との協力を得て極く一部の地区で事故防止を実施してきたが、その経費等につれては農家、組合等連合会で負担能力に差があり十分実施できなかつたため、予防措置が徹底せず事故も多く悪循環であります。それがため畜産経営者、畜産共済事業、國の畜産振興計画等を阻む要因になつてゐたわけあります。

そこで損害防止事業はどこでも同じ水槽を越える場合は2倍と計算する。

（肉皮等の残存物価額は事故家畜の評価額の2倍を越える場合は2倍と計算する。）

たゞし肉皮の残存物価額が評価額の2倍を越える場合で、計算した共済金の額が加入時の評価額より残存物価額を引いた額（実損害額）より大きい時は実損害額が支払共済金となります。

（育成牛、肥育牛で加入後育成牛六ヶ月、肥育牛三ヶ月を経過して死廢事故があつた場合は加入時の評価額が事故直前の評価額に比べて著しく低いときは、その事例が発生直前の価額を用いて計算される場合がある。）

また、今まで国が七割、連合会が三割の責任部分が一部改められ、共済事故のうち一部の地域等に集中的に発生する異常事故（法定伝染病、流行性感冒等又は異常な風水害による共済事故）について

今まで以上に嘱託、指定獣医師との協力を得て極く一部の地区で事故防止を実施してきたが、その経費等につれては農家、組合等連合会で負担能力に差があり十分実施できなかつたため、予防措置が徹底せず事故も多く悪循環であります。それがため畜産経営者、畜産共済事業、國の畜産振興計画等を阻む要因になつてゐたわけあります。

そこで損害防止事業はどこでも同じ水槽を越える場合は2倍と計算する。

（肉皮等の残存物価額は事故家畜の評価額の2倍を越える場合は2倍と計算する。）

たゞし肉皮の残存物価額が評価額の2倍を越える場合で、計算した共済金の額が加入時の評価額より残存物価額を引いた額（実損害額）より大きい時は実損害額が支払共済金となります。

（育成牛、肥育牛で加入後育成牛六ヶ月、肥育牛三ヶ月を経過して死廢事故があつた場合は加入時の評価額が事故直前の評価額に比べて著しく低いときは、その事例が発生直前の価額を用いて計算される場合がある。）

たゞし肉皮の残存物価額が評価額の2倍を越える場合で、計算した共済金の額が加入時の評価額より残存物価額を引いた額（実損害額）より大きい時は実損害額が支払共済金となります。

（育成牛、肥育牛で加入後育成牛六ヶ月、肥育牛三ヶ月を経過して死廢事故があつた場合は加入時の評価額が事故直前の評価額に比べて著しく低いときは、その事例が発生直前の価額を用いて計算される場合がある。）

## 家畜のための環境衛生

環境衛生

桑原旬

岡山県衛生部環境衛生課

吾々人間の生活にとって、環境衛生が快適であることが人の衛生にとってどれだけ大切であるかということはご承知であります。吾々の生活環境に蚊がおる、蠅がおることは不愉快なことだけではなく、蚊によつて恐ろしい日本脳炎の恐威にさらされ、蠅によつていままい赤痢が流行し、病氣によつて肉体的な苦痛だけでなく、医者よ薬よ、病院に入る経済的損失のみならず、一家の大黒柱である蠅によつて恐ろしい日本脳炎の恐威

吾々人間の生活にとって、環境衛生が快適であることが人の衛生にとってどれだけ大切であるかということはご承知であります。吾々の生活環境に蚊がおる、蠅がおることは不愉快なことだけではなく、蚊によつて恐ろしい日本脳炎の恐威にさらされ、蠅によつていままい赤痢が流行し、病氣によつて肉体的な苦痛だけでなく、医者よ薬よ、病院に入る経済的損失のみならず、一家の大黒柱である蠅によつて恐ろしい日本脳炎の恐威

吾々人間の生活にとって、環境衛生が快適であることが人の衛生にとってどれだけ大切であるかということはご承知であります。吾々の生活環境に蚊がおる、蠅がおることは不愉快なことだけではなく、蚊によつて恐ろしい日本脳炎の恐威にさらされ、蠅によつていままい赤痢が流行し、病氣によつて肉体的な苦痛だけでなく、医者よ薬よ、病院に入る経済的損失のみならず、一家の大黒柱である蠅によつて恐ろしい日本脳炎の恐威

吾々人間の生活にとって、環境衛生が快適であることが人の衛生にとってどれだけ大切であるかということはご承知であります。吾々の生活環境に蚊がおる、蠅がおることは不愉快なことだけではなく、蚊によつて恐ろしい日本脳炎の恐威にさらされ、蠅によつていままい赤痢が流行し、病氣によつて肉体的な苦痛だけでなく、医者よ薬よ、病院に入る経済的損失のみならず、一家の大黒柱である蠅によつて恐ろしい日本脳炎の恐威

りません。蚊でも發生したところより五

一家の悲劇さえも起すことになります。住居の場所としては乾燥した陽当りの良い場所が理想的です。これが寝起きする吾々にとっても健康であることの条件であります。住居の場所を乾燥さすためには、排水溝を作り水はけを良くする吾々にとっても健康であることの条件であります。住居の周囲に溜り水ができると、夏場には蚊の発生源となります。住居の附近にごみや汚物が溜った箇所がありますと蠅の発生源となります。

りません。蚊でも發生したところより五

</

# 今日の家畜

---

## 衛生の課題

## 出席

(五十音順)

# 今本香豆彦 (岡山県畜産課幹)

井木清治(岡山県畜産公社事務局長)

鳥海徹(岡助山大教授)

永 札 達 夫 (岡山県養豚振興協議会副会長)

# 松尾文雄(岡山家畜保健所長)

# 牧野勉 (邑酪農久郡長船町家)

坂手岸雄(津市農協)

# 藏 知 穀 (岡山県畜産会長)

藏知……昨年に引続いて、八月二十一日から二十七日までの一週間、県と畜産会の共催で関係機関の協力を得て「家畜衛生週間」を設け、講演会、検診等の行事を行ひ、県下全般の家畜の衛生思想の普及啓蒙を図ろうと考えている。

昨年は豚コレラ、今年ニューカッスル、乳牛では相変らず繁殖障害、更に和牛の放牧地帯では牧野衛生と問題が多い。そこで皆さんに大いにご意見をおききした

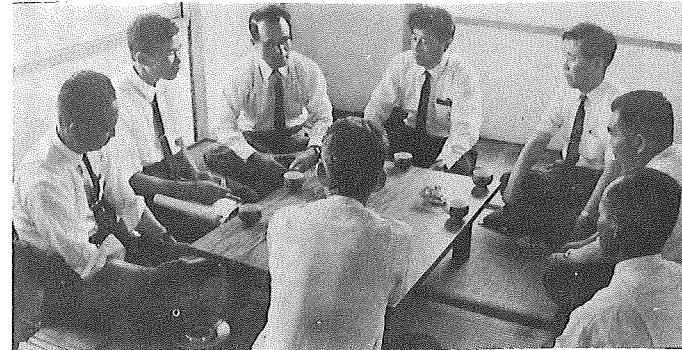
が不思議なくらいである。

今までの防疫は国や県がするものと考  
えられており、また我々もそう思つてや  
ってきた。これからは、保健衛生を担当  
しているものだけでは防ぎきれない。藏  
知さんのいわれるようく、自主防疫をも  
っとと強力に指導してゆかねばならぬ。ま  
た一般の技術者も衛生知識を持たねばだ  
めだ。その意味でこの「家畜衛生週間」  
の意義は大きい。

さて、衛生問題になると農家は、知識がないといふのが無関心である。最近のように企業化してくると、自分の財産は自分で守るという意識を持たなければだめだ。伝染病が出ても、自分の所だけは大丈夫だろうという安易な気持があつては、地域ぐるみの協力は得られ難い。家畜が集団化して難しいが、どうしたら防疫の体制を固め、病気を防ぐことができらうか。

今本……最近の家畜の飼養形態は大きく変ってきたし、流通も広域化し、国際的にまでなつており、常に病気の脅威に曝けられてゐる。更に実体をみるとエサ屋が薬を扱つたり、はげしいのは卵まで扱い、それが全国的な関係をもつて動いて

藏知……衛生思想の徹底はまだまだあるが、例えばニユーカッスルがはやつた当時、ある団体の入口に消毒液が設けあつたが、実際は手を洗っている人は殆んどいなかつた。衛生に対する知識、関心は、指導層の間でもこの程度かといつ気がした。坂手さんは、こんどのニユーカッスル禍の当事者ですが、どう感じたか。



(永礼達夫氏)

時節柄問題が多いだけに真剣に話合う皆さ

いう考え方から、採算ベースに乗る衛生対策を指導したい。

一番困るのは予防注射というものがありませんが、正しく使っていい点である。薬は上手にワクチンは正しく使え」という標語がある。いくら注意をうがしてもほつといて、隣りに出てからあわて

鳥海……半プロという問題が出ているが、自分の財産を守るという切実な願いからプロ化するのは当然だと思う。それに色々な専門雑誌があつて知識を知らせているし、ちょっと大型化するとエサ屋、薬屋が数軒出入りして、いいにつけ悪いにつけ助言している。そこで一つ一つ適当でない方法をとることも

藏知……今後の効果的な防疫体制はどうしたらよいと思うか。

生予防については、自分の財産は自分で守るという考え方を指導しないとダメで、従って、末端での集団的な防疫体制が必须要である。自衛自衛といつてもオール白

これからは自主防疫を指導

とには行政責任をとっていた。銅  
認識が足りない点は改めねばなら

うことに行政責任をとっていた。飼養者の認識が足りない点は改めねばならぬといが、しかし最近の血清豚の問題についても、あんな取締りをしているから豚肉の消費が落ちたんだ、責任をとれといふ声が多い。また大規模経営をやっておれば色々見学が来る。それを県の職員が幹旋している例もある。こういうこともあ

成場を作つて、放牧飼養の展示場を作る  
ということが公社の使命である。  
和牛経営で儲けるためには総合管理が  
大切で、なかでも牧野管理と衛生管理は  
特に重要である。流感の予防注射、ピロ  
の検査もしているが、何分に日が浅いた  
めデータがないので、関係機関の協力を  
得て試験研究を進めてゆきたい。  
牛の流感の問題は、昨年は県境まで来  
ているので今年の発生が心配されるが、  
一般にはまだ関心が低いようと思われる  
もう少し保健所を動員して P.R. をする  
共に、予防注射を受けるようにお奨めし  
たい。



でも牛疫、口蹄疫が入る危険がある。これから動物の交易には用心が必要だ。  
藏知……一般的の防疫については保健所の仕事をよく認識して、民間の協力を得



( 蔵知 毅氏 )

て実際に即して行わなければならぬといふことだが、また、こういう時代になつたのだから、特に食鳥、食鶏の処理について、一般消費家庭でも協力していただけるよう認識させたい。

それに、報導機関の利用の仕方がまずい。一旦出たらドットと報導するものだから、一般の人は恐れている。もつと未然にして流し、PRを大いにすれば有効であ

永社……その点農家をまわり、一番効果をあげるのが薬屋、エサ屋さんである。津山近辺の養鶏家は県にワクチンの依頼をしたが、香川に出たために薬が回ってこなかつた。しかし当時、薬屋はまだ手持ちがあるからいくらでも出すといったそうだ。県の行政で考へてみると、業者のつながりはなかつたことになる。常に注意していなければならぬ薬についてもつと連繫が必要だ。

これから の畜産は、すでに環境衛生が問題となっているから、今までのようにあまりにも不潔な印象を与えるようではいけない。

永礼……多頭羽化すると、公害を出す可能性が多くなる。糞尿その他の処理問題を究明してもらわないと、今後の多頭化は

ニエ一ガツスルで  
もてたといふお話

衛生退屈といってでも、養鶏家にはひとつこない。三月以来、ただいま衛生年間を実施中だからです。鶏は、たびたびつかまえられ、痛ましいほど予防注射をされるほか、薬漬けになるほどです。ご相伴の管理人も、骨の髓まで消毒薬がしみこんでいます。それでもなお鶏病の侵入

神様のお供えには  
何がよいのだろう



家畜衛生週間に  
よせる鶏の話題

して頂くために何をお供えしたらよいのか、それもあやふやになっています。また、お手紙を下さる方に、お詫びしてお掛け

しかたがありません。鳩といえば、今年はニユーカッスル以上の話題がないのですから……。

さけるのかならねですか。こんどのイキニエはあまりにも大きいものでした。国産死毒ワクチンのお供えは、一回や二回ではお気に召さず、三回も四回もお供えしたのに暴れたことがあります。そして、全国では何百万羽もの鶏がイキニエになつたのです。そのため、お供え物に付けて不言感がつづきました。どうやら

に召すらしいと、いわれるようになります。した。いつのこと、この神様を、法定伝染病と呼ぶ神の座から降ろし、生ワクというお供えをジャンジャンささげようではないかといいだす人もあります。お供えさえしておけば、イギニエまでは要求されないですむ方法を、一日も早く決めてもらいたいものです。衛生週間中にも、よく話し合いたいと思います。

神様といえば、鶏の神様には、どんな神様をお祭りしたらよいか、ということが話題になつたことがあります。浦安研究所内に、鶏を祭るヤシロをつくろうとしを昭和三十年のことです。吉島、ム式

体を迎えることもなかつたのですが、この筋に聞いてみますと、鶏の神様は「長鳴鶏」と「日奈鶏」の二柱だそうです。この神様は、もちろんインキニエを要求することもなく、お供えは海の幸山の幸だけによく、ワクチンまでお供えしなくてはなりません。暴れ出すこともありません。暴れ出すのは、直会でお神酒に酔つた信者の方でしよう。それでも、お供えのものもろを下げる、直会の酒宴は景気がよろしい。仏式の鶏魂碑では、お下がりのお供えも種類が少ないし、何よりも神様不在ですから景気がちがいます。この神様は必要です。

てはいませんかと申したい。もうこのごろでは、お座なりな鶏病対策は通用しません。この家畜衛生週間に、どういうこといふる。養鶏家も、コレダメな

な扱いを受けたことが、しばしばあつた  
からです。県の畜産課に、昨年になつて  
ようやく養鶏係が設けられたのなんかも  
その一つです。しかし、今平は、ニュート

前文は取り消します。

これから畜産は、すでに環境衛生が問題となっているから、今までのようにあまりにも不潔な印象を与えるようではいけない。

は防疫も中心に  
化が進まなくなる。  
蔵知……防疫で一番重要なことは、予  
防注射を徹底しておけば、まず一安心と  
いうことである。また業者関係を大いに  
啓蒙しなければならない。保健所はでき  
るはんいで、大いにバトロールしてほし

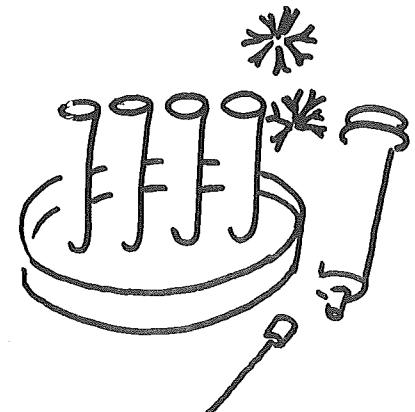
な話であるが、法の前には弱い立場にある。従つて環境衛生も併せて研究しなければならないが、こうした問題も順次取り上げて行きたいと思っている。

家畜衛生週間を機会に、もう一度、広い意味での家畜の衛生問題を皆さんで反省し、お考え願うことにして本座談会を終ることにしたい。

長時間どうもありがとうございました

今本……ニューカッスルのワクチンは発生した場合は国が別ワクをくむが、さだんは予約制である。昨年夏出ないものだから農家がキャンセルしたため、メカ一も手びかえた。ところが秋に出たため一々ペんに混乱した。今年からは予約は絶対に実行するという方針で四月より実施し、軌道にのつている。これを励行すればワクチンは必ず手に入る。

牧野……今年は牛の流感が危いといふので予防注射の希望を取つてゐるが、これは希望でやるべきではなく、大家畜は小家畜と違い債が張るのだから、むしろ県が強制的にやるべきではないか、そ



後に何か

鳥海……日本の畜産はエサと育種にて  
点がおかれで伸びてきたり。防疫について  
はなおざりにされていた面がある。しかし、  
今後は防疫を含めた三本立てでゆく  
ねばならない。

でも牛車の  
かられ  
の仕事を  
藏知:  
て実際に  
いうこと  
ったのだ  
ついては  
ただける  
それには  
い。一旦  
ら、一般  
に、注意  
じて流し  
る。

永礼: 果をあげ  
津山近辺  
をしたが  
こなかつ  
持ちがあ  
そうだ。  
業者のつ  
常に注意  
いてはも

今本……ニューカッスルのワクチンは発生した場合は国が別ワクをくむが、だんは予約制である。昨年夏出ないものだから農家がキャンセルしたため、メカーノも手びかえた。ところが秋に出たため一々ペんに混亂した。今年からは予約は絶対に実行するという方針で四月より実施し、軌道にのっている。これを勵行すればワクチンは必ず手に入る。

牧野……今年は牛の流感が危いといふので予防注射の希望を取つてゐるが、これは希望でやるべきではなく、大家畜は小家畜と違ひ値が張るのだから、むしろ県が強制的にやるべきではないか、そうすればワクチンの予約も楽になるだろう。

今本……牛の流感には流行熱を起す北研毒による軽いものと、咽喉頭マヒを起す家衛試毒による危険率の高いものがある。流行熱はかかるても獸医にちよつと見せればなおるようなものだから、希望ようではない。

永礼……多頭羽化すると、公害を出す可能性が多くなる。糞尿その他の処理問

後に何か。鳥海……日本の畜産はエサと育種にて  
点がおかれで伸びてきた。防疫について  
はなおざりにされていた面がある。し  
し、今後は防疫を含めた三本立てでゆ  
ねばならない。

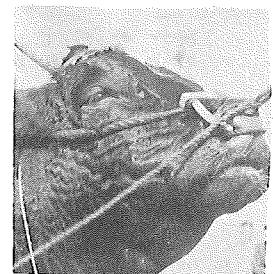
藏知……今日は時間の関係と、たま  
ま豚コレラ、ニューカッスル等の伝染病  
が発生したため、話の重点が防疫問題に  
しほられたが、衛生となるともと範囲  
が広く、日常発生する各種の病気から、  
牛の繁殖障害の問題、寄生虫による被害  
の問題、あるいは一定地域に発生する地  
方的な病気等話題は実に広い。これを限  
られた時間に全部を話すことも困難であ  
るので、機会を見て焦点を擡ってお話を  
伺う機会を作りたいと思っている。

また環境衛生の問題も次第に喧ましく  
なると思う。畜舎があることを承知で住  
宅を建てておりながら、そこに人が住む  
ようになると公害として問題にされ、角  
けるのは何時も農民の側である。不合理  
な話であるが、法の前には弱い立場にあ  
る。従つて環境衛生も併せて研究しなけ  
ればならないが、こうした問題も順次取  
り上げて行きたいと思っている。

家畜衛生週間を機会に、もう一度、大  
い意味での家畜の衛生問題を皆さんで反  
省し、お考え願うことにして本座談会を  
終ることにしたい。

長時間どうもありがとうございました

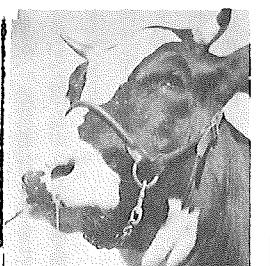




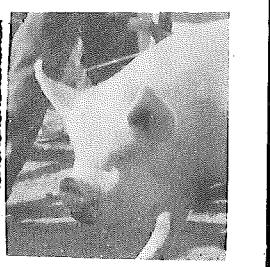
20頁



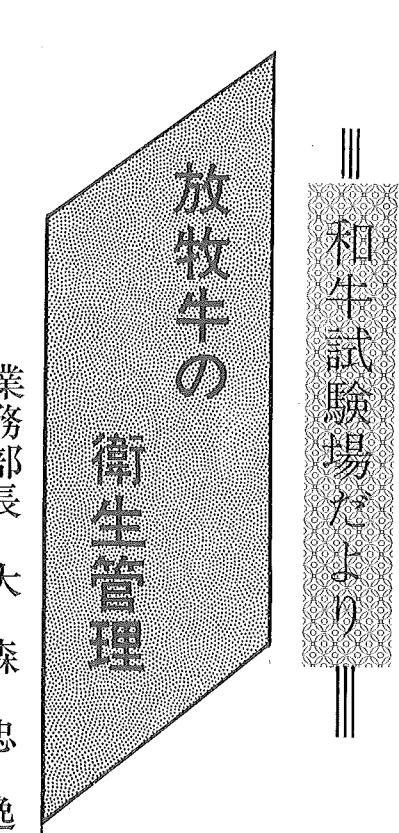
23頁



27頁



32頁



## 業務部長 大森忠逸

畜産經營の合理化、省力化の観点から草地造成が各地で積極的に進められ、牛の集団放牧が盛んに行われるような傾向になって来た。然し放牧牛に対する衛生管理の未熟などによって、事故牛が続出するか、あるいは十分な放牧効果が得られない等の事例が見られ、必ずしも所期の成績があがっているとはいえない事情にある。そもそも牛の放牧病の病因は複雑で、現在のところ未解決の点が多いが

その中でもピロプラズマ病（以下ピロ病）と消化管内寄生虫病は放牧牛に最も重要な疾病であり、放牧牛の衛生管理上最も重点がおかなければならぬ疾病と思われるので、以下これ等のことについて考えてみようと思う。

## 一、ピロプラズマ病

放牧牛の大敵ピロ病はダニ類によって媒介され、一度感染すると発熱、血色素尿、黄疸などが必発し、強度な貧血を起し放牧牛は極度に衰弱し、その被害は極めて大である。そこでこの病気を予防するため二つの手段が考えられる。一つはこの病気を媒介するダニを撲滅する手段と、いま一つは放牧牛にピロ病の免疫を獲得させることにより病原原虫の体内侵入を防ぐ手段である。

## (一) ダニ駆除による手段

ダニ駆除をするに当り、よりよく効果を期待するためには、ダニ生息の実態をよく承知し、この認識にもとづき時期と場所により適宜合理的な手段を選ぶべきである。

## 〈ダニ生息の実態〉

## ① ダニ発育の経過

ダニは卵、幼ダニ、若ダニ、成ダニ、の四段階を経て発育する。産卵はすべて

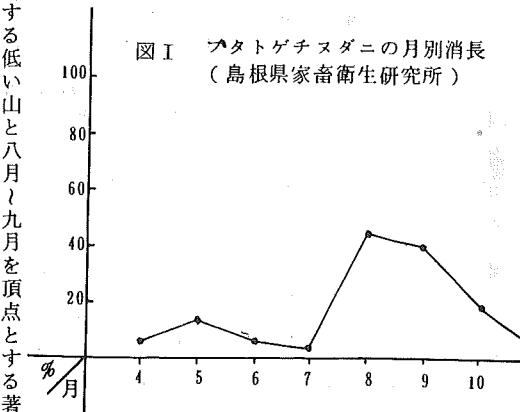
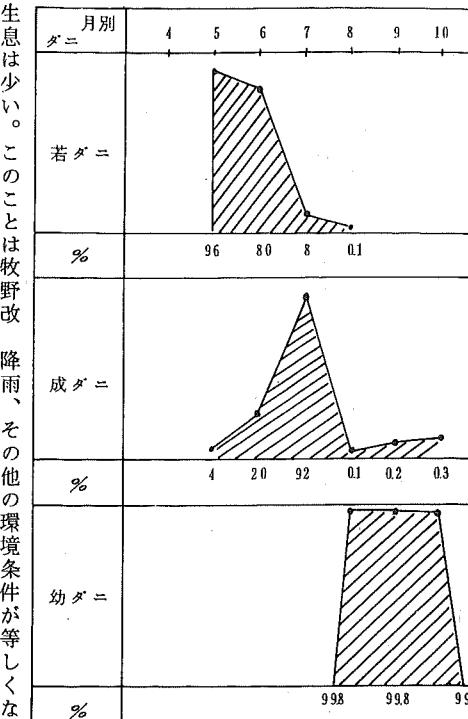
地上で行われ、産卵を終った雌成ダニは二、三日後に死滅する。そして温度、湿度により孵化日数に差はあるが、一般に一三日頃たつと幼虫となり草、灌木の先端に至り動物の接近を待つ。そこで動物にふれるたゞちに附着して寄生生活を始め、十分吸血しやがて脱皮して若ダニとなる。若ダニは幼ダニと同じような経過をたゞつて飽血、脱皮して成ダニとなりやがて産卵を始める。産卵は湿気の多い落葉の間下草、朽木など日光の直射しない所で行われる。

② ダニの種類

県北の山地に生息するダニはおそらくフタトゲチマダニ、ヒゲナガチマダニ、及びタネガタマダニの三種類で、中でも圧倒的に多いのはフタトゲチマダニで他のヒゲナガチマダニ、タネガタマダニは極く少数である。

## ③ ダニの季節的消長

ダニは図1に見られるように季節的に二峰性の消長を示し、即ち五月を頂点と

図I フタトゲチスダニの月別消長  
(島根県家畜衛生研究所)図II フタトゲチマダニの発育ステージ別消長  
(島根県家畜衛研)

放牧牛に対するピロ病の被害は幼令牛に多く、しかも初山放牧時のものに特に頭当り五〇タを牛体に撒布して放牧する。そしてこれを一週間間隔でくり返す。

② プレミアムスミチオン一・五%粉剤

本剤を成牛一頭当たり二〇〇タ、子牛一頭当たり五〇タを牛体に撒布して放牧する。

③ ネグボン〇・五%水溶液

これは水溶液であるから布をよく薬液に浸し牛体にすりつけて放牧する。これも前者同様一週間間隔でくり返す。

## (二) 免疫による手段

放牧牛に対するピロ病の被害は幼令牛に多く、しかも初山放牧時のものに特に頭当り五〇タを牛体に撒布して放牧する。

① BHCO-I-3%粉剤

BHCO-I-3%粉剤を一〇アルカリ当り、三kg、五kg、七kgの撒布量で、いずれも明確にダニ駆除効果はあるが、その有効期間は撒布量が多い程長い傾向が認められ、七kgでは二ヵ月以上有効である。

撒布時期の決定は、前述③のダニの季節的消長を見極めて決定せらるべきである。又撒布回数が多くれば多い程、駆除効果の大なることはいうまでもない。然しながら、労力、諸経費の問題を考慮に入れ判断した場合、BHCO撒布はできるだけ撒布量を増し、春季放牧直前（越冬若廃度とダニ生息数との間に関係があり、草地造成後日が浅く改良の進んだ牧野ほ

とあることは牧野のダニ駆除を計画、立案する上に重要なことである。

④ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然牧野の方がはるかに多い。また牧野の荒場と、牛体に撒布又は塗布して放牧するかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑤ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑥ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑦ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑧ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑨ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑩ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑪ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑫ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑬ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑭ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑮ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑯ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑰ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑱ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑲ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

⑳ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

㉑ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

㉒ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

㉓ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

牧野におけるダニの生息の実態が明らかとなれば、殺ダニ剤撒布となるわけであるが、これには薬剤を牧野に撒布する

ことは、有効で手近かなダニ対策の一方法かとも思われる。

このことは牧野のダニ駆除を計画、立

案する上に重要なことである。

㉔ 牧野別ダニの生息状況

ダニの生息数は、改良牧野よりも自然

（関東地方に蔓延をもつていた）急性型  
ニユーラッカスル病が、本県にも三月三日  
突如として津山市高野地区に発生し、三  
月二十七日には県南四大寺市などにも発  
生し、表一のようによく近年にない発生を認  
め、現在ようやく峠を越したものの、な  
お完全終息に至らず予断を許さない情勢  
で、養鶏家は嚴重な警戒が必要である。  
最近の養鶏産業は著しい発展を示し、  
その飼養型態も大型化し、しかも、集団  
化して来た。養鶏経営の合理化を図るた  
めには、生産費の低減、生産性の向上、  
経営技術の向上、流通改善等を考慮する  
必要がある。しかし前記のような伝染病  
が一度発生すると、養鶏経営は根底から  
覆され、往々にして再起不能となる場合  
もある。国、県、市町村はこうした被害  
に対する特別な援助方策を講ずる必

要があろう。一方、これから養鶏家は経営の合理化を図るために、個人のみでなく地域ぐるみの自衛的衛生対策に最重要をおいて、予防対策を忠実に、しかも適正に実行し、ニューカッスル病のようにうな伝染病は絶対に発生させないよう努めすることが大切である。ずさんな衛生対策では、これから養鶏経営の成功は絶対にあり得ないということを、養鶏家は銘記すべきである。そこで、養鶏のためにこれから衛生対策について、当場で実施している業務や試験研究を中心として述べ、養鶏家各位の参考に供したい。

表1 ニューカッスル病発生状況  
(6月28日現在)

地 区 名	発生戸数	発生羽数	備 考
津 山 市	42 戸	42020 羽	
勝 央 町	3	360	
勝 北 町	1	1188	
美 作 町	1	2501	
西 大 寺 市	56	55,682	
邑 久 町	2	347	
岡 山 市	7	8,545	
計	112	110,643	

表2 生存率

年度別	最 低	最 高	平 均	備 考
3 7 年度	79.5%	94.3%	89.4%	10件
3 8 //	62.5	94.9	79.9	10
4 0 //	73.5	93.8	83.1	9

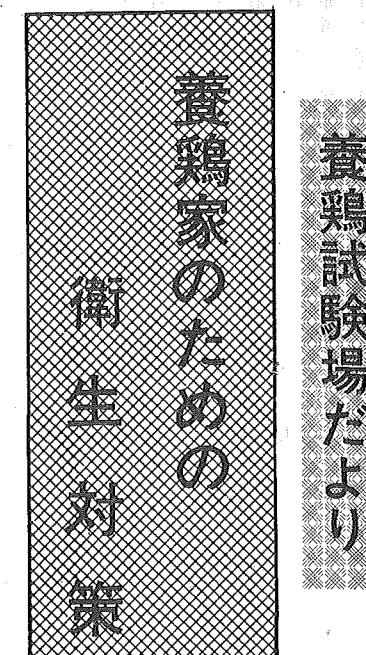
(注) 岡山県鶏経済能力検定成績より抜す  
151日から500日までの生存率

表3 ニューカッスル病ウイルスの外界における生存日数

農林省家畜衛生試験場				
区分	ふ卵器	室 (17°C)	鶏舎	水室
うぶ毛卵	87日	192日	255日	538日
鶏ふん	126	235	255	538
	56	94	172	538

業務部長  
村田武

卷之三



業務部長  
村田武

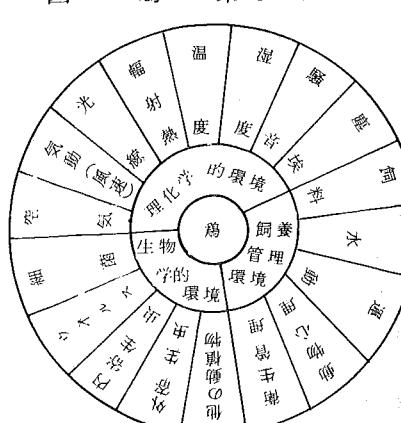
優秀な産卵成績をあげるための健康が第一であつて、病氣抵抗力の強い健康性を持つて、事なごとである。即ち、抗病性を導入し、よい環境でよい管とが大切である。

鶏の健康が第一であつて、病気に対しても抵抗力の強い健康性を持つてゐることが大事なことである。即ち、抗病性の強い鶏を導入し、よい環境でよい管理をすることが大切である。

(1) 抗 病 性

同じ環境で同一条件で飼育管理した鶏でも、夫々の品種や銘柄により抗病性が異っている。当場で実施した最近3か年間の経済能力検定成績においても、表2で見られるように、生存率において銘柄により大きな差異が見られ、明らかに抗病性の差を示しており、抗病性の強い鶏を選定することが大切である。

### 図1 鶴の環境条件



いかに抗病性が強く能力の高い鶏でも、その飼育環境が悪ければ、能力を充分に発揮することはできない。鶏の環境条件

図III 放牧子牛に於ける線虫卵の消長  
(島根県家畜衛生研究所)

日数 (Days)	卵数 (Eggs/g)
0	950
10	850
20	800
30	850
40	900
50	950
60	900
70	850
80	800
90	750
100	700
110	650
120	950
130	900
140	850
150	800
160	750
170	700
180	650
190	600
200	550
210	500
220	450
230	400
240	350
250	300
260	250
270	200
280	150
290	100
300	600

Cattle Weight (kg)	Number of Roundworms (per g meat)
100	~2000
150	~2200
200	~2400
250	~2000

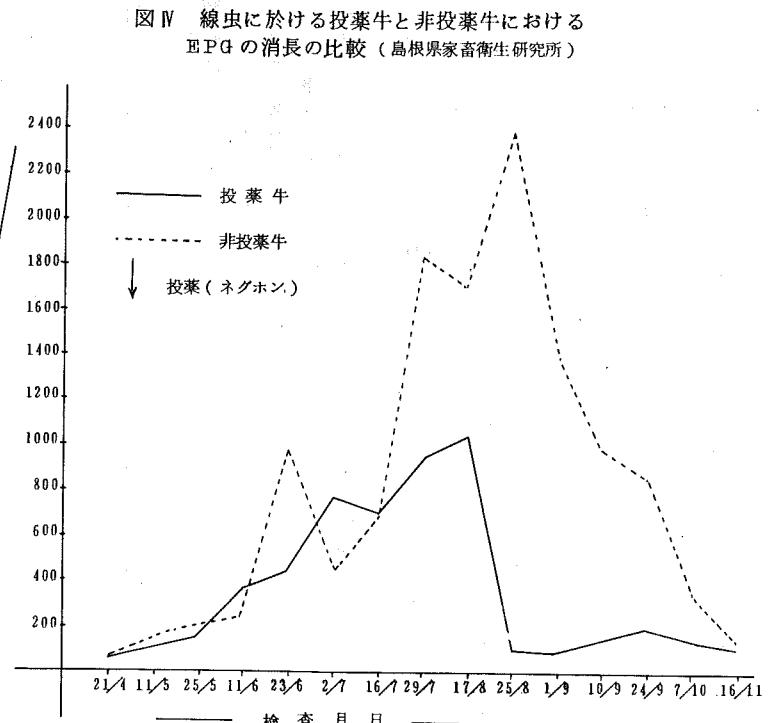
（一）放牧牛における線虫類の消長

放牧病等とともに、重視されるところである。線虫はそ

れると、ダニ、ピロ病なるようだ。

種類によりあるものは胃に、あるものは小腸に、又大腸に寄生し、寄生性胃腸を起し下痢をするなどして、特に子牛においては発育その他に大きな被害を与えるものである。

Date	Line虫卵数 (E.P.G.)
21/7	~1000
22/7	~1500
23/7	~1400
24/7	~1300
25/7	~1200
26/7	~1100
27/7	~1000
28/7	~900
29/7	~800
30/7	~700
1/8	~600



図III 放牧子牛に於ける線虫卵の消長  
(島根県家畜衛生研究所)

驅虫剤としてネグホン「バイエル」を体重一kg当たり六〇mgを水溶液として採食後に投与する。図IVはネグホンの薬効を示したものである。ネグホンは副作用の点である程度の問題はあるが、一方には安価に使用できるという大きな利点もあり、線虫類の駆除に応用して有効と思われる。

なお副作用の問題であるが、これの発的所見として下痢、その他食欲不振、反芻停止の所見が見られ、少數のものに流涎、元気消失の所見が認められるものもあるが、これらは投薬後三〇分～二時間の間に発現し、長くても四八時間までには消失する。

以上放牧牛の衛生管理の問題点の二、三について考えてみると、つづいて二

を大別すると、理化学的環境、飼養管理環境、生物学的環境となる（図1参照）。これらの環境条件を、なるべく良好にするよう気をつけなければならない。

## 二、ニューカッスル病

対策について

ニユーカツスル病については、本誌四月号に詳細に記載してあるので参照していただきたいが、なお、つぎの事項は特に注意する必要がある。

抵抗性について

低温に強い性質

病は気温の低い秋期から冬期に蔓延し、昨夏期には終息すると言わっていたが、昨年の発生状況をみると七月に埼玉、東京、静岡、宮崎県に発生しているので、環境条件が悪い場合は、夏にも発生するということを再認識し、厳重な警戒が必要である。また、ニューカッスル病の全国的な発生に伴ってウイルスの常化が認められ、いつ、どこで発生するかわからぬい非常に危険な状態にあるので、気温の低下する本年の秋は予断を許さないと考えられるので、夏の間から万全の予防対策を行なう必要がある。家畜保健衛生所

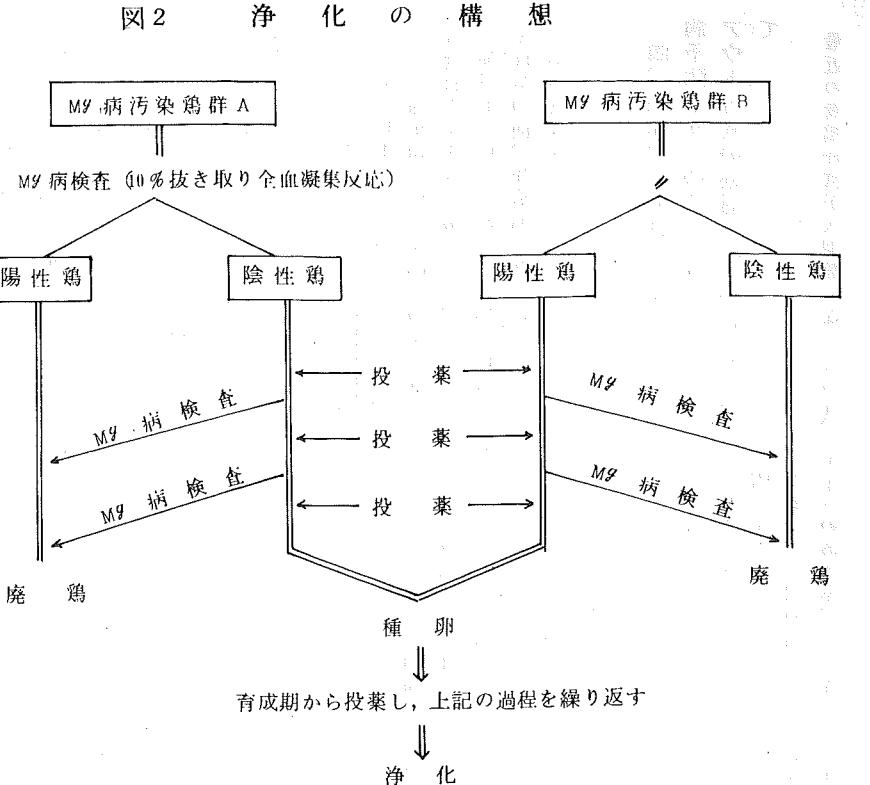
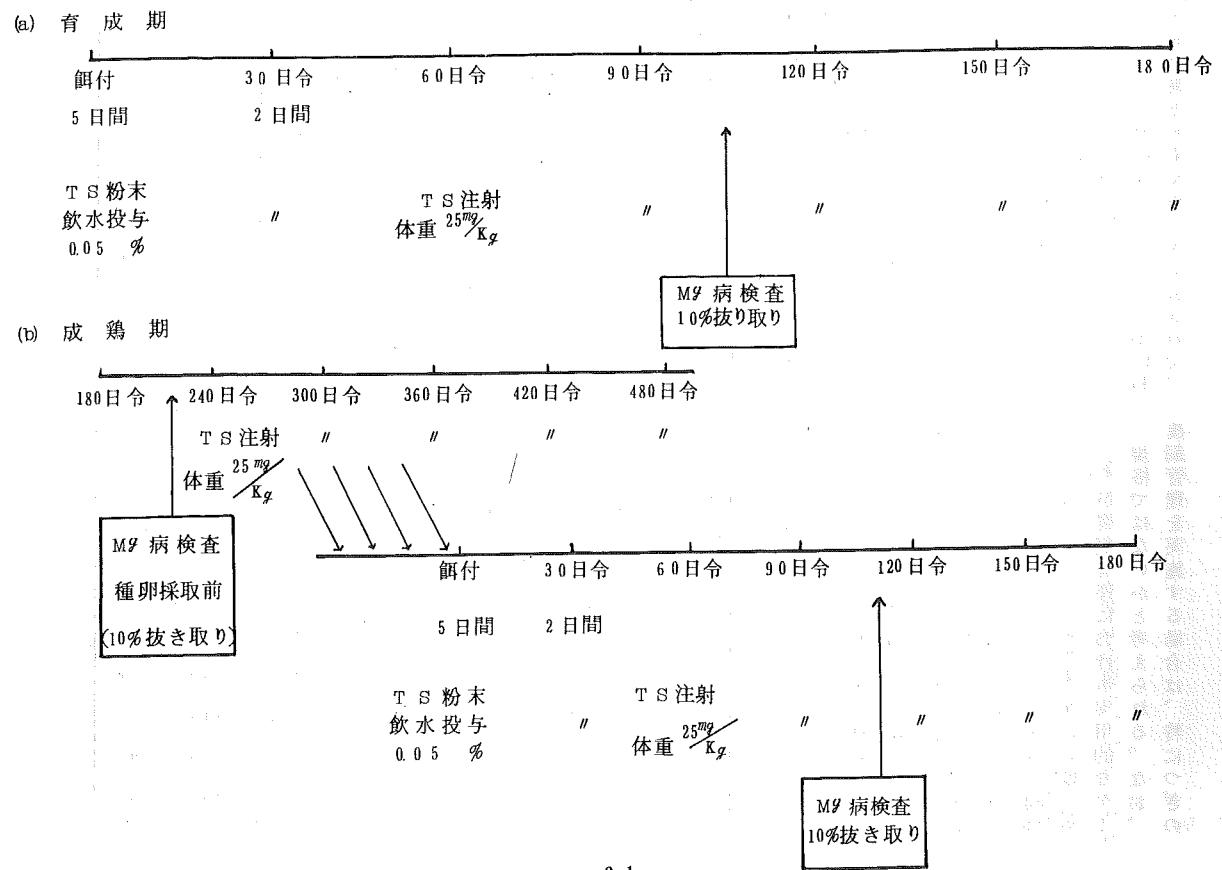


図3 T S 投与実施計画（育成鶏群）



(b) TS投薬が産卵に及ぼす影響  
産卵調査の結果全体的に見て産卵に及ぼす影響は特に認められなかつた。  
(c) TSとニューカッスルワクチン同様注射が鶏体に及ぼす影響  
鶏病予防のための作業労力は逐年増加しており、この省力化は大きな課題

射が鶏体に及ぼす影響について調査したが、鶏の健康状態が良好で注射が適切であれば、産卵率等に特に支障は認められなかつた。

(d) TS の注射部位と副作用（痙攣）

TS の関係

TS の注射は鶏の頭頸移行部背面の皮下に行なわれるが、注射部位が頭部となつてゐる。こゝでは前記の同時注

(2) 発生  
本病の病原菌は「マイコプラズマ・ガリセブチカム」(Mg)という非常に小さな細菌である。

塩野義製薬株式会社の協力を得てMg病の  
浄化を実施したので、その中間成績を発  
表し各位の参考に供したい。

全飼養羽数の中一〇%抽出で検査した結果は表4のとおりであった。  
(b) 凈化の構想  
図2のとおり。

(以下 TS と略称する) マクロライド系抗生物質 タイロシン (以下 薬品)

(2) 対象鶏

アーヴィングが同一精円で飼養されたもので、疫学的見地からこれらの育成鶏および成鶏の全飼養鶏を対象として実施し

た。  
a) (+) 実施計画  
育成雑誌

(6) 飼育実験群  
餌付計画により鶏群ごとに図3のとおり実施した。

(b) 成鶏群  
開始時の成鶏群については、TS の隔

月注身（六〇日毎）体重二十五kgを月を起点として実施した。

(a) TS 投薬後の Mg 病淨化状況

採用前のM病棟看護員は表のとおりで、TSの計画的な投与により浄化が著しく進められた。なお、検査は次のTS

#### 4 Mg 病検査成績

(S 4.1.5.2.6.現在 10%抽出)

飼養羽数	検査羽数	陽性羽数	陽生率
2,741 羽	260 羽	84 羽	323 %

飼付計画により鶏群ごとに図3のとおり実施した。

(b) 成鶏群

開始時の成鶏群については、TSの隔月注射（六〇日毎）体重二五 $\text{mg/kg}$ を六ヶ月を起点として実施した。

(c) 成績の概要と検討

TS投薬後のMg病浄化状況

育成期一二〇日令おおよび成鶏期卵採取前のMg病検査結果は表5のとおりで、TSの計画的な投与により浄化が著しく進められた。なお、検査は次のTS投薬直前に各鶏群を一〇%抽出して全

卷之三

(脳中枢)に近い程  
顔面の腫張が多く現  
われ、離れるに従つ  
て軽微であり、第2  
と第3頸椎の部位が  
適当であると推察さ  
れた。

(e) Mg病の浄化に  
よる経済効果

種々の要因が関連  
するので断定はでき  
ないが、Mg病の浄化  
に伴い、育成率およ  
び受精、ふ化率は向  
上の傾向が認められ、  
慢性呼吸器病群の症  
状鶏は皆無となり、  
著しく改善された。

表5 Mg病検査成績 (10%抽出)

育成期 成鶏	検査月日	検査羽数	陽性率	
			陽性羽数	陽性率
自4月1日 至4月11日	7.15	487	8	1.64
自4月11日 至4月22日	12.8	362	2	0.55

Mg病の浄化は、  
種々の要因が関連  
するので断定はでき  
ないが、Mg病の浄化  
に伴い、育成率およ  
び受精、ふ化率は向  
上の傾向が認められ、  
慢性呼吸器病群の症  
状鶏は皆無となり、  
著しく改善された。

しかし、以上の成績  
はMg病浄化初年度の中間成績であり調  
査資料も不十分であるので、更に継続  
し検討している。なお、採卵鶏に対し  
ては労力面、経済面より更に検討をす  
ゝめる必要があろう。

四、採卵鶏の立体飼育における鶏  
病予防上からのオールイン・オール  
アウト方式の検討と複飼管理につい  
て

点に注意する必要がある。  
(1) カニバリズム防止のため、ケージ  
に収容する前に必ず断嘴を行なうこと。  
(2) 鶏舎全体の収容密度が高くなるの  
で、通風換気には特に注意すること。  
(3) 収容密度が高くなるので、病気の  
蔓延も通常の場合より一層早いから、呼  
吸器病など伝染性疾病的予防にはとくに  
注意すること。また、暑さに対しての鶏  
舎の防暑対策も忘れないこと。  
(4) 同一ケージ内には発育のそろった  
ものを入れること。大小の鶏を混飼する  
と成績はよくない。また前記の成績は白  
レグを用いての成績であり、兼用種のよ  
うな大型の鶏については検討をする。

養鶏家のためのこれから衛生対策の  
うち二、三の重要な問題について述べた  
が、これを要約するとつぎのとおりであ  
る。

(1) 養鶏経営の合理化を図るために、  
まず、自衛的衛生対策を最重点にし、個  
人のみでなく地域ぐるみの予防衛生対策  
を、一致協力して強力に推進しなければ  
ならない。

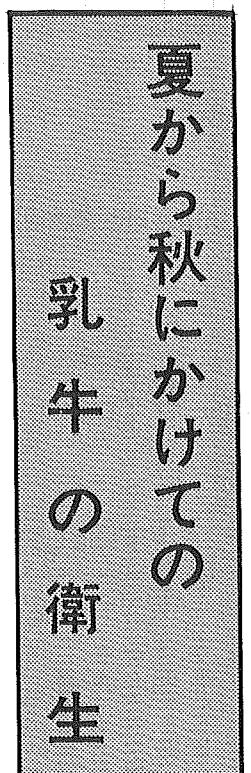
(2) 予防衛生対策と同時に、強健な鶏  
をよい環境でよい管理のもとに飼育する  
必要がある。

(3) ニューカッスル病予防対策には万  
全を期さなければならぬ。生ワク使用  
については慎重に研究する必要がある。

### まとめ

#### 1 牛舎と付属施設

##### 専門技術員 三浦友久



牛舎は夏には開放して通風がよく、牛  
舎は東西に面して建築されれば西日  
の当たる面積が少く好都合ですが、地形  
から放散された熱を早く舎外に放出する  
ことが必要で、このためには出来れば牛  
舎は東西に面して建築されれば西日

を置いて熱気を防ぎます。  
牛舎構造  
はひさしを出すか庇陰樹を植え又は日除  
けをつけて西日を防ぎます。建物巾が  
狭い場合には舎外からの熱が牛舎内に入  
り制約もあり南北に長く建てなければな  
らない場合も多いのですから、この場合  
はひさしを出しますから、この場合には牛  
舎の両側に庇陰樹を植え又は日除けを張  
り出すことが必要です。

屋根で熱せられた空気が牛舎内に入  
り制約もあり南北に長く建てなければな  
らない場合も多いのですから、この場合  
はひさしを出しますから、この場合には牛  
舎の両側に庇陰樹を植え又は日除けを張  
り出すことが必要です。  
(2) 冷房  
林の地下に埋めた土管の中を通して空  
気を送り(九州農試畜産部、第一図)、  
又は井戸水を循環させて冷却する方法  
(徳島県、西原氏)等があります。

省力化の方法として機械導入がはかられ  
大群平飼方式も盛んになっている。この  
平飼い方法においてはオールイン・オ  
ルアウト方式が採用されている。しかし  
ながら、わが国の現状では単飼ケージに  
による立体管理が主体的に行なわれている。  
この利点は常時育成鶏を保持しあきヶ  
ージに隨時若鶏の補充が可能であり、ケ  
ージの利用率を高度に維持することがで  
きる点にある。しかし欠点として、隨時  
補充方式のため鶏舎の消毒を十分行なう  
ことができず、老鶏から若鶏に病気が伝  
播することも多く予防衛生上問題点が多  
い。また、点灯や飼料給与においても適  
切に行ないがない。しかしオールイン・  
オールアウト方式においては以上の欠点  
を補うことができる。

即ちこれの利点として  
(1) オールイン・オールアウトするこ  
とにより一定の休止期間をおき、この間  
に鶏舎を徹底的に消毒することができる。  
(2) 鶏舎単位に同一ふ化のものが収容  
できるので飼養管理が合理的に行なえる。  
(3) オールインしてからオールアウト  
するまで、一羽の補充も行なわないので  
ケージのあき室が多くなり、ケージの利  
用率が低下する。

用率が低下する。

(2) この方式に適合する鶏舎の施設が  
必要であり、また、鶏舎の配置や間隔も  
十分考慮する必要がある。

したがって、ケージの利用率を高める  
ためには、あらかじめケージ全体または  
一部のケージを二羽飼いとし、駄鶏淘汰  
や斃死のため空いたケージに補充してあ  
る。当场においては、産卵鶏のグル  
ープケージ管理について過去三か年にわ  
たり試験調査をすゝめてきておるので、  
つぎにその概要(表6)を説明する。  
(詳細は試験研究報告7~9号を参照さ  
れたい。)

第一次、第二次の試験の結果から、  
第三次の試験からは産卵率、飼料  
要求率、生存率、経済性等比較検討した  
結果、経済的にはケージの大きさが間口  
×39cmが複飼管理における実用的なケ  
ージ規格ではないかと考えられる。なお、  
奥行において2×39cmないしは255  
×39cmが複飼管理における実用的なケ  
ージ規格ではないかと考えられる。なお、  
複飼管理を実施する場合は、特につぎの  
通りに注意する必要があります。

第一次、第二次の試験の結果から、  
第三次の試験からは産卵率、飼料  
要求率、生存率、経済性等比較検討した  
結果、経済的にはケージの大きさが間口  
×39cmが複飼管理における実用的なケ  
ージ規格ではないかと考えられる。なお、  
奥行において2×39cmないしは255  
×39cmが複飼管理における実用的なケ  
ージ規格ではないかと考えられる。なお、  
複飼管理を実施する場合は、特につぎの  
通りに注意する必要があります。

表6 試験成績概要

年次	試験区	試験1区	試験2区	試験3区	試験4区	試験5区	産卵率		1日1羽飼料摂取量	飼料要求率	生存率
							ケージの規格と収容羽数	%			
第一年次	セミモニター型 鶏舎対照区	24×39, 1	24×39, 2	24×39, 3	24×39, 4	24×39, 5	間口24cm、奥行39cm、2羽	69.4	10.5	2.75	81.3
		30×45, 3	36×39, 3	60×45, 7	60×60, 7	60×60, 7	30cm×45cm、3羽	62.4	9.4	2.74	80.0
		60×45, 7	60×60, 7	60×60, 7	60×60, 7	60×60, 7	60cm×45cm、7羽	67.5	10.2	2.79	66.7
		60×45, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60cm×45cm、6羽	60.0	10.3	3.13	57.1
		60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60cm×60cm、6羽	61.7	10.2	2.99	65.7
第二年次	鋸歯型 鶏舎照 験区	24×39, 1	24×39, 2	24×39, 3	24×39, 4	24×39, 5	間口24cm、奥行39cm、2羽	71.2	10.7	2.77	88.9
		30×45, 2	36×39, 3	60×45, 6	60×60, 6	60×60, 6	30cm×45cm、2羽	63.6	9.8	2.83	79.2
		60×45, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60cm×45cm、6羽	59.4	10.5	3.25	76.7
		60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60cm×60cm、6羽	61.5	10.8	3.15	70.0
		60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60×60, 6	60cm×60cm、6羽	67.8	11.1	3.02	80.1
第三年次	対照区	24×39, 1	24×39, 2	255×39, 2	273×39, 2	273×39, 2	間口24cm、奥行39cm、2羽	56.7	10.1	3.16	62.5
		24×39, 2	24×39, 3	255×39, 2	273×39, 2	273×39, 2	30cm×39cm、2羽	54.3	10.0	2.83	60.4
		24×39, 2	24×39, 3	273×39, 2	273×39, 2	273×39, 2	30cm×39cm、2羽	59.0	10.2	2.93	70.8

軒高は3m程度は必要で、できるだけ  
天井を設けます。天井附近には屋根から  
天窓から暖い空気を舎外に排出し、又牛  
舎の周囲には庇陰地となるべく広く取  
り出します。軒からひさしを2m  
×3.9mが複飼管理における実用的なケ  
ージ規格ではないかと考えられる。なお、  
複飼管理を実施する場合は、特につぎの  
通りに注意する必要があります。

又南側や西日の当る壁の附近の空気も  
天井を設けます。天井附近には屋根から  
天窓から暖い空気と牛の体熱の放散に  
より暖められた空気が上昇して、天井か  
ら三〇~五〇cmの間には特に暖い空気が  
漂っています。  
天井を設けます。天井附近には屋根から  
天窓から暖い空気を舎外に排出し、又牛  
舎の周囲には庇陰地となるべく広く取  
り出します。又西日の当る牛舎では牛に大き  
な苦痛を与えます。夏にはガラス戸を取り  
外すし、必要に応じては壁面を取りのぞ  
いて出来るだけ開放してやるよう心掛け  
ます。又西日の当る牛舎では牛に大き  
な苦痛を与えます。夏にはガラス戸を取り  
外すし、必要に応じては壁面を取りのぞ  
いて出来るだけ開放してやるよう心掛け  
ます。

林の地下に埋めた土管の中を通して空  
気を送り(九州農試畜産部、第一図)、  
又は井戸水を循環させて冷却する方法  
(徳島県、西原氏)等があります。



外は畜舎の壁、窓ガラス等に静止している時間が長いので、この部分に $5\%$  DDT、 $○ \cdot 5\% BHG$ 、 $○ \cdot 5\% DDT$ 、 $○ \cdot 5\% BHG$ を $50cc$ 程度壁面に噴霧します。たゞこの際、畜舎や飼槽等に散布しないよう注意が必要です。

## (2) 放牧害虫の防除

ワラビ、フキ、雑灌木などの下は一般にダニの棲息密度が最も高いが、草地改良の行われた牧野にはほとんどダニが棲息しなくなるか極めて少くなっています。又休牧するとダニは吸血できないために餓死しますから輪換放牧、休牧を行うのも一つの方法です。又アブ、ブユ等は清水中に発生しますから、流れにDDTでは $1\text{PPM}$ 、リンデンでは $1\text{PPM}$ になるくらいにその水和剤を投入しますと、人畜魚には無害で下流 $1\text{km}$ までのほとんどの幼虫を殺し駆除効果があるといわれています。

放牧地で牛体に付着したダニを駆除する為には、その牛が子牛か又は近く搾乳する牛の場合には $○ \cdot 1\%$ 除虫菊が副作用が少くて有効です。一般には $○ \cdot ○$ 五%リンデン乳剤、 $○ \cdot 5\%$ マラソン、一%ナノコール液等を散布するとダニの寄生数を急激に低下させることができます。持続性はありませんから輪換放牧や他の捕殺等と併用して行います。その他牧区に $3\% BHG$ 、 $1 \cdot 5\% DDT$ 、ジノンを $3\text{kg}/ha$ の割合で散布しますとダニ

を激減させ効果があるといわれています。たといわれていますから、今後十分な警戒が必要です。

ウイルスは発病牛の血液中に存在して「ウイルス」による「牛流行熱」と「家衛試」による「牛流感」になりますが、以前からこの二つを総称して「牛流行性感冒」と呼ばれています。

この病気を厳密に分類しますと「北研ウイルス」による「牛流行熱」と「家衛試」による「牛流感」になりますが、以前からこの二つを総称して「牛流行性感冒」と呼ばれています。

発生率は高いのですが不顕性感染が多いため、感染率は高くても発病牛の死亡率は北研型（牛流行熱）に比べて高く、四 $\sim$ 一〇%に達します。

本病発生の北限は牛流行型と同じ新潟、福島南部でそれ以北には認められておらず、発生の時期も流行熱と同じ八月頃に

発生し十一月中旬頃に終息します。潜伏期は牛流行熱と同じ三~七日で、突然四

突然四〇~四一℃以上に発熱して元気が無くなり、呼吸が早く涙を流し眼や鼻汁、よだれを流し食慾は減少又は廃絶

し、軽度の鼓脹や反芻の停止などがみられます。又その他筋肉の震えや解熱後足腰のふらつきやびっこを引く事もあります。

四十一年の発生は約七千頭で二~三日で回復し、予後は大体良好でありました

が、年令別の発生率を見ますと若令のものと九才以上のものが低く、五才から八才までの発生率が高い傾向があります。

過去の発生も概ねこの傾向を示しています。四十一年の発生は時期が今迄の初発の七~八月に比べてかなり遅れていたことと、発生地域が概ね日本海側の六県に限られ、和牛飼育地帯で発生したため小流行で終りましたが、これまでの発生状況からみて二〇年毎に大きな流行があ

ります。四十一年の発生は約七千頭で二~三日で回復し、予後は大体良好でありました

が、年令別の発生率を見ますと若令のものと九才以上のものが低く、五才から八

才までの発生率が高い傾向があります。

つまり、後者のみの流行などがあり又混合感染の可能性もあります。ウイルスは発病牛の血液中に存在して感染するかは明瞭でない。発病の季節が夏から秋にかけて新潟、福島以南で発生し、それ以後はみられないでの或る種の吸血昆虫の媒介によって起るものではありませんが、まだ明らかではありません。一度罹ると免疫が出来再感染しにくいのですが、家衛試型に対しても実用的な予防生ワクチンがありますので、定期的推察されますが、まだ明らかではありません。一度罹ると免疫が出来再感染が期待できます。

①、予防注射の実施。

②、早期発見に努め、八~十一月の間、家畜導入についても本病流行について十分考慮するようにします。

③、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

④、早期発見と届出の励行に努め、発生をみた場合には各方面と連絡を密にして発生予防、蔓延防止につとめます。

⑤、予防注射の実施。

⑥、早期発見と届出の励行に努め、発生をみた場合には各方面と連絡を密にして発生予防、蔓延防止につとめます。

⑦、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑧、早期発見と届出の励行に努め、発生をみた場合には各方面と連絡を密にして発生予防、蔓延防止につとめます。

⑨、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑩、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑪、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑫、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑬、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑭、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑮、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑯、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑰、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑱、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑲、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

⑳、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉑、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉒、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉓、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉔、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉕、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉖、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉗、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉘、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉙、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉚、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉛、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉜、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉝、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉞、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉟、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

㉟、環境衛生上からでも吸血昆虫の自己駆除を行いうようになります。

